

皮膚科研修プログラム

I 一般目標 (GIO)

皮膚疾患患者に対して、プライマリーケアとチーム医療を行うために、診断と治療のための皮膚科特有な知識、技能を習得する。

II 行動目標 (SBO)

- * 皮膚の構造および免疫を中心とした機能を理解する。
- * 病歴聴取、皮膚症状の把握の方法、正確な記載法を学び、自分なりの臨床診断を下せるようにする。
- * 診断確定のために必要な検査の計画を立て、実際に行い、その結果の正確な評価、説明をできるようにする。
- * 皮膚科の治療上極めて重要な外用療法、創傷治療法、スキンケアを理解し、十分な説明の上、実際に行えるようにする。
- * 皮膚科で使用することの多い全身治療薬について、効果と副作用を中心に使用法を理解し、十分な説明の上、実際に行えるようにする。
- * 皮膚科で行う理学的、観血的、外科的治療を学び、手技を習得する。
- * 頻度の高い皮膚疾患、慢性、難治性、重症の皮膚疾患について正確な診断、説明、治療をできるようにする。

III 方略 (LS)

- * 外来で指導医の診療を見学し、病歴聴取、皮膚症状の把握、カルテ記載、患者に対する症状・検査・治療の説明方法を学ぶ。
- * 外来で予診を行い、診断、検査、治療を自分で考えた上に、指導医とともに診療を行う。
- * 皮膚科入院患者の病歴聴取、皮膚症状の把握を行い、カルテに記載して、検査・治療の計画を立て、指導医とともに実際に行う。毎日回診し、経過を観察する。また患者には丁寧に説明する。
- * 真菌検査、皮膚生検、貼付試験、光線療法、血液検査などの検査を理解し、指導医の指導のもと、実際に行い、結果を評価し、患者に説明する。
- * 凍結療法、皮膚腫瘍切除術、切開・排膿、軟膏処置などの治療を理解し、指導医の指導のもと実際に行う。
- * 形成外科医の外来診療を見学し、手術に助手として加わる。
- * 他科入院患者の診療を指導医とともに行う。
- * それぞれの科との関連の深い皮膚疾患について学び、協力して治療する。
- * 指導医によるレクチャー、症例検討会に参加して、積極的に学ぶ。